

# 飛躍

題字 飛躍 揮毫 新居浜市立北中養護教諭 池田 貴子 解説は3面



発行所  
(公財)愛媛県教育会  
〒790-8545  
松山市祝谷町1丁目5-33  
エスポワール愛媛文教会館内  
電話 (089)945-8644  
FAX (089)945-1459  
E-mail info@chime-kyouikukai.jp

- (2) 学校紹介 中川小学校
- (3) ふるさとに生きる
- (4) 特集「心に残る私の先生」
- (5) 全国小・四国小中
- (6) 道徳研究大会を終えて
- (7) ふるさとスケッチ
- (8) ふるさとスケッチ

## 夢をつかむための「切符」とは プロ野球愛媛県人選手のことば



フリーパーソナリティ  
松山市立桑原小学校PTA本部監事

### やのひろみ

PTA活動をさせていた  
いていることと、我が子が  
童クラブ(お迎えコース)で  
お世話になっていること  
で、ほぼ毎日小学校に足を運  
んでいるが、子どもたちのキ  
ラした表情を覗くだけで嬉  
しくなるし、将来が楽しみに  
なる。また、仕事柄、子ども  
たちを対象にしたイベントや  
テレビ取材などでも、キラキ  
ラした子どもたちに出会うこ  
が多く、これもまた嬉しい。  
先日も、野球少年一八〇名  
と一緒に一日を過ごした。プ  
ロ野球愛媛県人会から、元メ  
ジャーリーガーで福島ホープ  
ス球団代表兼選手兼任監督の  
岩村明憲選手と、ヤクルトの

鶴久森敦志選手、楽天の安樂  
智大投手の三名が講師を務  
める野球教室&トークショー  
である。愛媛に到来した大寒  
波を吹き飛ばすような、熱い  
指導と全力投球の子どもたち  
。私が「プロ野球選手になり  
たい人」と聞くと、予想外に  
かなり手が挙がって正直驚い  
た。そんな子どもたちに、プ  
ロ三人が共通して語ったこと  
で一番印象的だったのは、岩  
村も鶴久森も安樂も、幼少の  
頃から「野球選手になる」と  
断言していたこと。「なれた  
らいいな」ではなく「なる」。  
「めちゃくちゃ勘違い野郎  
だったんですよ」と三人とも  
笑ったが、「勘違い野郎」こ

そ、夢を現実のものにするた  
めの「一枚目の切符」ではな  
いだろうか。もちろん、それ  
に裏付けられる努力を三人と  
も継続してプロの道を切り拓  
いたことは言うまでもない。  
家のブロック塀が破損するほ  
どバットを振った岩村、ライ  
バルをイメージしながら一人  
素振りを続けた鶴久森、体を  
大きくしたくて井鉢四杯の飯  
を喰らった安樂。でも最初は  
超ポジティブな「勘違い」か  
ら、決意を揺らぎないもの  
にしたこと変わりない。  
大人になると邪念が入って  
なかなか言い放てないことを、  
子どもたちはいとも鮮やかに  
高らかに宣言できる潔さがあ  
る。我々大人は、その芽を決  
して摘まないよう、大人の都  
合で歪曲しないよう、肯定し、  
見守り、共に悩み、時にドン  
と背中を押してあげたい。子  
どもたちのキラキラの応援隊  
として、PTA活動でも仕事  
でも子育てでも、それを実行  
できればと思っている。

現代社会の動き・  
向かう方向はなかな  
か難解。互いの思惑  
が衝突し、格差も大  
きい。一昔前であれ  
ば勉強や運動ができ  
さえすれば、「出来  
る奴」と評価されていたもの  
だが、「能力」の多元化と  
も言うのか、教育の世界にお  
いても、求められる「能力」  
は、人間力、学校力、授業力、  
コミュニケーション能力等々  
多岐に渡っている▼職場にお  
ける管理職、主任等、つまり  
組織のリーダーとして求めら  
れる「コーディネート力」や  
「人間関係構築力」は、一朝  
一夕に身に付くものではない。  
部下からの相談に即座に  
答える専門的知識、組織をま  
とめる指導力、航路を的確に  
伝える伝達力、個々の話に耳  
を傾ける懐の深さが欲しい▼  
「超一流の雑学力」という本  
と出合った。その最初に、「雑  
談には、人生を変える力があ  
る」とある。雑学とは、雑多  
な知識の集合のことを指すが  
。その雑学を蓄え、そのレ  
ベルを高めることによって起  
こる、すさまじい効果を知っ  
て欲しいとある▼「雑学力」を  
高めること。ここに、これか  
らのリーダーに求められる力  
の養成や、時代を創り切り拓  
いていくためのヒントがあり  
そうな気がする。

### 響きょう聞きこ

- 一略 歴
- (やのひろみ)
- 昭和五十年愛媛県松山市生まれ
- フリーパーソナリティ・ディレクター
- 第四十七回ギャラクシー賞DJ
- パーソナリティ賞受賞
- NPO法人俳句甲子園実行委員会  
理事
- NPO法人国際地雷処理地域復興  
支援の会理事
- 砥部焼大使第一〇六号

ひとこと

感性指数?.....!



愛媛県教育研究協議会 会長 遠藤 敏朗

野村学園の元園長仲野猛先生から、本を贈呈していただいた。学園創立五十周年を記念して編集された「版画詩どろんこのうた」である。この本には、先生が大切にしている子どもたちの作品が日本語と英語で紹介されている。

わたしが特に気に入っているのは、利根勝之くんの24時間「にんげんは みんな24時間で がんばっていくしかありません」と井上繁利くんの「山は愛です うぐいすが 恋人を さがして なかよくとんでいくけん 愛です」という版画詩である。勇気づけられる詩、幸せな気持ちになる詩である。この本を、毎日眺めていると、不思議に生き

る喜びを感じる。

「どろんこのうた」を児童合唱組曲にした作曲家池辺晋一郎氏は、「人を知能指数だけで測るのはおかしい。角度を変え、感性指数という視座から測れば、全く異なる結果が顕れる。これはすべてのことに敷衍できるのではないか。」と書かれていた。理屈ではない世界がこの子どもたちの作った版画詩にはある。

十年ほど前、障がいのある子どもへのデイ施設で柔道を教えながら詩を指導されている仲野先生のもとに通い、教わったことがある。「この子たちの言葉は、命の言葉、魂の言葉です。飾ってないんです。だから、だれもが感動すると思います。」とはにかみながら語ってくれたのを思い出す。

生きるために、一番大事なことを教えてくださったような気がした。飾らず生きること、本気で生きること、そして、感性をみがくこと。感性指数が高い子どもたちの作品に私の心も豊かになってきた。

(松山市立雄郡小学校長)

祝 受章おめでとうございます

◇瑞宝双光章(高齢者叙勲)

- 村上 健様 88歳 元新居浜市立船木中学校校長 新居浜市
- 久米 浩様 88歳 元新居浜市立中萩中学校校長 新居浜市
- 戒田 保夫様 88歳 元松前町立北伊予小学校校長 松前町
- 大塚 文春様 88歳 元宇和町立宇和町小学校校長 西予市

学校紹介

No.177

西条市立中川小学校

小中合同運動会

中川小学校では、特色ある教育活動として、平成十五年度から、丹原西中学校と合同で運動会を開催しています。

児童生徒数減少に伴い、また、地域で一小学校一中学校ということもあり、合同で行うようになりました。では、今年度の様子をお知らせします。

まず、六月に、思い出に残る運動会にするため、両校の代表がテーマを持ち寄り、話し合いを行いました。今年度のテーマは、「紅と白、己に負けず、駆け抜けろ」に決定しました。

本番当日、まずは入場行進です。校旗をもった代表の六年生、中学三年生に続き、かわいらしい小学一年生の入場です。初めての運動会ですが、笑顔にその成長ぶりが窺えます。その後、二年生からたくましく育った中学三年生までが、順々に入場し、勢ぞろいする姿は感動ものです。開会式では、小中それぞれ

の代表二名が、「仲間とともに力を合わせ、最後まで全力で競技し、心に残る最高の運動会にする」という誓いの言葉を堂々と発表しました。

その後は小中交代で競技が進んでいきました。小中合同で行う種目は丹原音頭、大玉運び、紅白リレーです。

大玉運びは紅白に分かれ、全員が大トラック上に二列で並び、小学生はその間を転がし、中学生は上に持ち上げ、力を合わせ二周します。最後の紅白リレーは、一番の盛り上がりを見せます。小学一年生からスタート、二年生、三年生次々にバトンをつないでいきます。抜きつ抜かれつが目が離せないリレーが展開されました。小学生が終われば、中学生です。バトンをも

らった中学生は、部活動で鍛えられた足でさすがの力走を見せてくれました。最後の中学三年生まで、全員が力を出しきったすばらしいリレーで

した。今年度は、赤組に軍配が上がりましたが、どの児童生徒も満足した表情で閉会式を迎えました。運動会を通して、中学生は自主・自立の精神だけでなく小学生を思いやる行動が見られ、また、小学生はきびきびと動く中学生に憧れを抱き、尊敬の念が芽生えています。

九年間の成長が見られる小中合同運動会は、保護者、地域の方に温かく見守られ、愛される行事になっています。

(校長 胡井 繁子)



題字に寄せて

飛躍



池田 貴子  
新居浜市北中  
養護教諭

「辞書を引くと「飛躍」とは、大きく発展して活躍すること、また、急速に進歩・向上することとあります。

この言葉は、本校生徒会のスローガンです。中学校での三年間は、人生の中でも急激な変化の時期にあたります。心も体も一気に大人に向かつて変化を始める時期。意識一つ変わることで、急速に進歩・向上することも可能な時期だと感じます。日々前向きに努力を重ねる生徒たちの姿に、この言葉がぴったりと重なり、頼もしく感じる毎日です。今年には四年。自分だけの翼、強みを携えて、大きく羽ばたいてほしいと思います。

ふるさとに生きる

地域とともに



武市 徹先生

今回は、退職後に地域に貢献され生き生きと活動されている武市徹先生をお訪ねしました。

一 地域での貢献活動

先生は、退職後すぐに町内会の役員の任に就かれられました。副会長、会長、防災部長を歴任され、現在も防災部門の顧問として年二回の訓練の陣頭指揮をされています。ずっと町内活動に参加されていることで地域の知り合いも増え、楽しく活動できていると話されました。もちろん教育会桑原支部の役員もされています。支部長を六年間歴任され、その後現在も継続して評議員を務め、支部の活性化に一役買っておられます。また、地元小学校の学校ボランティアにも参加され、行事の

訪問者

森 貞

淳

(松山市立桑原中学校教頭)

引率補助や昔遊びを小学生に教えています。

二 教員生活で一番

先生に、教員生活で一番楽しかったことを伺いしました。中体連の会長をされましたので、そのことを話されるだろうと予想していましたが、三年間のアルゼンチン



No. 90

での日本人学校の生活をあげられました。時間の使い方が日本とは違い、特に長期休業中は自分の思うように過ごせたそうです。アルゼンチンの自宅から、海外旅行も隣接している六か国にビザなしで行かれたそうです。また、今まで小学生を指導されたことがなかったそうですが、小学校一年生から中学校三年生まで指導されました。日本人学校で初めて教えたときは、小学生の指導に対する吸収力や進歩の速さに驚かされ、教えることの楽しさを存分に味わえたそうです。三年間のアルゼンチンでのお話をされているときの先生は本当に楽しそうで、ずっと満面の笑みでした。

した。また、若い教員に対しては、何事も積極的に取り組み、続けることが大切であるとお話しされました。

お話を伺っている間、ずっと笑顔で、地域とともに生き生きとした生活を送られている様子が、ひしひしと伝わってきました。また、一緒に見送って下さった奥様の笑顔も先生の元気の源だと思いました。自分の退職後もこうありたいと思わされる充実した時間を過ごさせていただきました。

武市

徹先生(78歳)  
(松山市東野在住)

三 これから

先生は退職後、趣味である書道も続けられているそうです。習字教室に通われ、作品も応募され金賞や銀賞を受賞され、ついに県展にも入選されたそうです。時間のあるときは、御家庭でじっくりと書をたしなんでおられます。今後どのように生活されますかと伺ったところ、これからもしっかりと地域に貢献して、時間があるときは習字でも書いていたいとお話しになりました。

愛媛県教育会の会員の皆様限定  
VISA ゴールドカード年会費特別優遇

2017年3月現在



通常 10,000円+税 が  
**2,500円+税**

2年目以降も継続優待

カードの詳細内容や入会申込書のご請求については、同封のチラシをご覧ください。



三井住友トラストカード

TEL 0120-006-542  
(平日9時~17時)

# 特集 心に残る私の先生

## 心に残る私の先生



江南市立川中  
長治  
後藤 宏治

今年度末をもって定年退職をする。小学校就学以来、褒められたことより叱られた記憶が圧倒的に多い私が、何とか教職生活を全うできそうなのも、これまで関わってくれたさつた多くの先生方のおかげである。

特に印象に残っている恩師の先生について、振り返ってみたいと思う。小学校低学年の運動会の時、個人走でお玉に玉入れの球をのせて走っているともう少してゴールという所で転んでしまった。もとの位置に帰ってやり直し、ピリのゴールとなった。その閉会式の時、当時の校長先生がわざわざ私のことを褒めてくださった。正直の大切さを教えていただいた。高学年の時は、体育の好きな担任の先生だった。なぜか、一日中水泳の日があった。丈夫な体に

なった。中学校三年の担任の先生は、早朝学習に遅れると、家に葉書が届いた。やがて遅れる生徒は一人もいなくなった。ルールや時間を守る

ことの大切さを学ぶとともに、教師は熱意を持って教育にあたることを教えていただいた。高校では、野球部に入り、睡魔と闘いながら授業を受けていたが、数学が分からなくなつた。若い野球部長の先生に放課後熱心に教えていただき、何とか教育学部に滑り込むことができた。そして、無事教師になることができた。数学を根気強く教えていただいた先生に深く感謝している。

結びに、私が出会い、私に関わってくれた恩師の先生方に深く感謝の意を表したい。

## 私の目標、阿部虎之先生



江南市長  
今治校  
井原 行則

昭和五十六年四月一日、今治教育事務所に初任者として

辞令を受けに行つた。所長室に入ると、今治市・越智郡の大きな地図があり、指示棒で自分の赴任する学校の位置を示していた。その学校は桜井中学校であった。

桜井中学校に赴任する初任者は四名で、生徒指導主事の先生が車で迎えに来られていた。四名が車に乗り込み、その先生の最初の一言が「わたしは生徒指導の阿部じゃ、お前は酒は飲むんか、マージャンはするんか」などと聞いてこられた。内心、「なんちゅう先生じゃ」とびっくりした。その当時、日本全国の中学校が荒れていて、そり込みや変形の学生服、長いスカートなどが幅を利かせ、毎日のように学校で何かが起こつていた。そんな中、阿部虎之先生は、生徒指導主事として学校の中心となり活躍されていた。しんどう生徒にしっかりと関わり、学校の生徒指導体制を構築し、地域の行事に顔を出し、保護者や地域から絶大な信頼を得ていた。また、先生方への心配りも忘れず、若い教員に声をかけ、様々なことを教えていただいた。大変なこともあつたと思うが、いっさい愚痴をこぼさず、生徒にとって何が一番いいの

かを常に考えられていた。そんな阿部先生だからこそ、その後教頭になられ、素晴らしい管理職として活躍されていた。しかし、平成二年の暮れ心筋梗塞で倒れ、現職で亡くなられた。

まだまだご活躍され、私たち後輩に様々なことを教えていただきたかった。本当に残念でならない。あれから二十六年の月日が流れ、亡くなられた時の阿部先生の年齢を超えてしまった私であるが、いまだに足元にも及ばない。今も「阿部先生だったらどう思うだろうか」、「阿部先生だったらどう行動するだろうか」と自問自答する毎日である。

## 大好きな学校



小山市姫山  
山頭  
松山教  
野本 清

今から四十年近く前、就職して会社員となり、その後結婚、一児の父となったものの、何か物足りなさを感じていた。このままでいいのかを問いつけた。そして結局会社を辞めた。

その時、私の心の中には、常にある恩師の姿があり、心

の奥底でくすぶり続けていた「教師の道」を選んだのだが、私の背中を押すこととなった出来事や、琴線に触れるような一言があつたかは全く思い出すことができない。当時を何度振り返っても、ただ、ただ「ああいう人になりたい。」との思いだけがあり、突き進んで行つたと記憶している。

小学校五・六年の二年間を受け持っていたが、亡くなられる九年前まではご夫婦とともに、また、今は奥様にと、ずつとお世話になつている私だが、子どもの頃の恩師との遠い思い出も、断片的な記憶となりつつある中で、最後まで残る恩師の姿こそがその全てであらうと思う。

教師生活も三十年が過ぎ、定年を間近に迎えようとしている現在、範であり、目標としてきたその恩師の「立ち居振る舞い」そのものに、自分が近づいているかどうかを考えたとき、感覚的だが、「何か違う」と、確信をもって言えるのがつらいところである。受け持つてもらつたその日から、先生の懐の温もりを感じながら過ごしてきた自分が今ここにいます。

何年か、何十年かのち、先生と再びお会いできたとき、

「先生と私」と題して、何年も何年も語り合えたらいいなと思っている。

妻は、私が毎朝出勤するとき、「大好きな学校へ行つてらっしゃい。」と必ず言う。

### あの山をどう見ますか



伊予教育会 OB  
大野 静雄

総合診療医と若き研修医たちが病名を探り当てるまでの謎解きが面白い『総合診療医ドクターG』。某テレビ局のこの番組で「病気をどう診るか」に試行錯誤している医師たちを見るたびに、ある人の言葉を思い出します。

四十数年前、地学に興味を抱いていた学生時代。地質調査所の地質調査に同行させていただく機会を得ました。玄武岩に記録されている地磁気の方角を丹念に確認したり、結晶片岩の微褶曲を測定し褶曲軸を割り出したりするなど、データを集積しながら方

向性を見出していく大切さを教えていただきました。

ある時、岩石の一部が地表に現れている調査中の山を見ながら、技官の服部氏に「あの山をどう見ますか」と地質構造について質問され、戸惑ったことを記憶しています。氏曰く、「見えないものを見ていくとき、どんな証拠があれば推測できるか、どのようにならなければ見えない部分が見えてくるのかを考えていく姿勢が大切」とのこと。

鳥の目(マクロ視点)と虫の目(ミクロ視点)の両方の視点を持つて証拠を集め、全体像をとらえていく。この発想法は、その後教師となつてからも非常に役立ちました。理科の教材研究や研究授業に取り組んだ時、砥部川や重信川の礫や流水を調べた時。一枚の星の写真を撮影するため校庭で夜を明かした時も。そこにある事象をどう見か。私が地質研究者からいただいた心に残る教えのひとつです。

### 心に残る私の先生



小栗津論 藤井 禎子  
大洲市教員

自分の中学校時代、K先生には、一・二年生の時、英語を教えていただいた。授業のノートとは別に、復習用ノートを持つように指示があり、丁寧に見ていただき、たくさん直していただいた。

教科書以外の内容にも、たくさん触れられ、定期テストで、辞書持ち込み可の時もあった。長文の中の「シアトル」が分からず、「アメリカの都市名」とテスト中に知った記憶が、今も鮮明に残っている。ICT機器もない時代であったが、「英語は楽しい」イメージを焼き付けてくださった。三年生になって、大洲市・喜多郡の生徒が皆受けていた実力テスト(各教科百点満点)で、英語の学校平均点が、二十点近く全体の平均点より高かったのも、驚きと

ともに記憶されている。K先生のように「分かる授業」を自分が今できているだろうか。

K先生は、部活動(バレー部)の顧問でもあった。ご退職前でいらつしやうたし、軽やかに自分が動かれる印象はなかったが、山なりのサーブではなく、最初の攻撃となるサーブが打てるよう、ゴムを準備してくださるなど、いろいろな工夫をしてくださった。毎日、部活動に顔を出して、球出しをしてくださった。

そのK先生が、二年生の終了時に、定年を迎えられた。離任の挨拶の時、イソップ童話の「塩を運ぶロバ」の話を読まれた。教訓めいたことは、何も言われなかったもので、かえってその後、「K先生はど

んなことをおっしゃりたかつたのかな。」と考えて現在に至っている。先生のご指導が、今も自分の中に生きています。

### 応募短歌

山は雪里は暖の春の日に吾子生まれけり声高にして  
父母逝きて境も見へぬ荒畑は入るもこわしと眺め帰りぬ  
満天の月夜に白鷺仰ぎみる坊ちゃん人形我も連なる  
若かりし父と拓きし山畑は山に還りて山百合の咲く

伊予市 井手窪 理  
松山市 野尻 精一  
西宮市 今井 保  
愛南町 前田 充

### 応募自由律俳句

(定型句を含む)

宇和海にふり向かたき寒さかな  
月に映えみかんの山がルミエール  
梅雨晴間将棋の相手は明日にして  
名月を中空に置き帰途に就く  
小寒大寒あそこもここも空き店舗  
散歩してだれにもあわなない過疎の道  
かつて祖父地酒引っかけ戦争談義  
里山の廃屋の庭霜柱

宇和島市 米子 達雄  
西条市 一色 早苗  
松山市 野尻 精一  
伊予市 井手窪 理  
今治市 杉浦 幸男  
内子町 小野植元 幸  
松山市 宮田 頼行  
西条市 高橋 和

### 応募川柳

東止の家族会議で多数決  
善人の笑顔は汗を惜しまない  
値段札の数字が巾着かす  
八十三手術に生かされもうけもの

西条市 一色 早苗  
宇和島市 米子 達雄  
今治市 杉浦 幸男  
内子町 小野植元 幸

愛媛県教育会の  
**積立年金制度**

老後の生活資金のために、  
積み立てをはじめませんか？

制度内容等詳細についてはパンフレットをご一読ください。

公益財団法人 愛媛県教育会  
電話 089-945-8644  
MY-A-17-他-001397

## 「考え、議論する」学びがいのある道徳授業をアピール 愛教研道徳委員会大会実行委員会

十一月十、十一日の二日

間、約八百名の参加者を得て

全国小学校、四国小中学校道

徳教育研究大会が開催され

た。十日は、松山市立久枝小

学校、潮見小学校、鴨川中学

校で授業公開と研究協議を

行った。十一日は、午前中に

全国と四国からの先進的な課

題別発表とその協議を行っ

た。午後は、開閉会行事、文

部科学省教科調査官の赤堀先

生による指導講演、金剛流能

楽師で人間国宝の宇高先生に

よる特別講演を行った。

### 大会主張内容

本大会の主張点は次の三点

である。

【考え、議論する道徳授業】

道徳的価値理解を確かなも

のとするため、ねらいとする

道徳的価値について、しっか

り考えさせる。考えたことを

立し、価値理解が深まる。

【実質的な要の道徳授業】

全教育活動を通して行う道

徳教育において重点化を図

る。その活動の中で、道徳的

行為を行う子どもたちを具体

的に称揚する。行為を支える

道徳意識を明確にし、道徳授

業の中で更に明確化し、自覚

させる。

【学びがいのある道徳授業】

以上のような道徳授業を誠

実にを行い、子どもたち自身

自己の心の成長を確認できる

授業に取り組む。子どもたち

は道徳授業が待ち遠しいもの

ことをがんばって」(学校図  
書株式会社「かがやけみらい  
道徳6年」)

【ねらい】夢に向かって自分

に適した目標をもち、着実に

前進していこうとする生き方

について考えることを通し

て、今できることに全力で取

り組み、より良い自己を実現

するために努力し続ける道徳

的態度を育てる。

【授業の概要】展開の前半で、

子どもたちが様々な価値観を

出し合って討議し、より良い

自分の生き方を考えることに

つながるような中心発問を提

示した。まず、個人の価値観

思いを語らせた。他の子ども  
たちは、自分にも吉田沙保里  
選手と同じような気持ちで頑  
張ってきたことがあることに  
気付いた。

学習後の感想では、「今頑

張ることが将来の夢につなが

る」「自分が後悔しないほう

に進んで頑張ったときの人生

のほうが思い切り笑える」と

いう思いをもった。今頑張る

ことや努力を一つずつ積み重

ねていく大切さに気付くとと

もに、その努力がより良い自

己実現につながることを深く

捉えることができた。

### 潮見小の授業(第三学年)

【主題名】命あるものを大切

に(生命の尊さ)

【資料名】「目の見えない子

犬」(自作教材)

【ねらい】団地の子どもたち

が、周囲から反対されても子

犬の世話を続けた理由を考え

問を精選し、展開前段の早い  
時間帯に中心発問を提示し  
た。児童が考えを発表する際  
には、切り返しの発問を効果  
的に活用しながら、生命の有

限性、平等性、唯一性、優先性

などの多様な価値観を児童か

ら引き出した。展開後段では、

これらの価値観と児童それぞ

れが向き合うことができるよ

うに、価値の自覚を促す場を

設けた。児童は、板書された

多様な価値観の中から自分が

一番納得できるものを選択

し、理由を発表していった。

児童の意見は「生命の平等性」

「生命の唯一性」に関する考

えに収束されていき、自然な

形で本時のねらいに迫って

命と関わった事例を写真など

で紹介し、その時の気持ち

を

し

っ

か

ら

っ

た

り

し

っ

か

ら

っ

る新たな気付きや認識の変容が記されており、授業を通して、生命の尊さに関する価値の自覚が、それぞれの児童なりに進んだことが分かった。

【鴨川中の授業(第三学年)】

【主題名】愛校心(よりよい学校生活)

【資料名】「オリーブを救え!」(自作資料)

【ねらい】主人公である生徒会長の姿を通して、学校には先輩たちの手によって受け継がれてきた校風があることを知り、自分が集団の中でできることを考え実行していくことが、よりよい集団を作ることにつながることに気付く。そして、自分の中にある学校への愛着を高めて、よりよい校風を作り受け継がねばならないとする態度を育てる。

【授業の概要】資料の内容

は、本校の校章にもなっているオリーブの木が枯れかかっていることを知った当時の生徒会長の裕子が、集会で全校生徒にそのことを知らせ、オリーブの木を復活させようとする。木を復活させるために

樹木医に交渉したり、オリーブの名産地である小豆島から苗木を譲り受けて校庭に植えたり、運動会の優勝チームに冠を作成したりして、生徒が学校のシンボルを復活させるために行動を起こすことが描かれている。

指導においては、主人公の思いに共感させるため、資料を前後半に分け、読み聞かせを行った。最後にゲストティーチャーとして当該先輩が登場し、手紙を読むことで、より先輩後輩のつながりを身近に感じさせ、学校への愛着を深めさせた。研究協議では、生徒の思考を深めていくための授業形態、切り返しの発問、話し合い活動、資料、愛校心の視点から協議が活発に行われた。指導助言の先生からは、次のような講評をいただいた。「ゲストティーチャーをはじめ、授業での仕掛けがすばらしかった。座席が非常に工夫され、お互いの学習の様子が見やすい形であった。多様な価値観に触れる時間があつたのは非常によかった。本授業は劇場のようで、生徒

たちに次は自分だという気持ちがあり、授業に引き込まれていることがよく感じられたよい授業であつたと思う。」



鴨川中学校



潮見小学校



久枝小学校

鬼が城山系の中に三間富士と呼ばれる泉山があり、その麓に三間平野が広がっています。三間町は地質的に太古より美しい沼地が多く、水沼が転じて「三間」の地名になったと言われおり、現在、美沼の里とも呼ばれています。町内には百八つの溜め池があります。中でも寛永四年(一六二七年)に、当時の庄屋「太宰遊淵」が灌漑用として香川県満濃池に似せて造つたと言われる中山池は南予でも有数の規模を誇っています。



美沼の里 三間町

ローカルトピックス

中山池公園では、四季折々の草花とともに三間町出身の石の彫刻家、藤部吉人氏の作品である「森の魚」やフクロウたちが優しく迎えてくれます。秋にはコスモス祭りが開催され、色とりどりの花を愛でながらおいしい三間米をいただくこともできます。また、近くには畦地梅太郎記念美術館や井関邦三郎記念館もあります。美沼の里は見所がいっぱいの町です。

文教月報編集協力委員 宇和島市立三間小学校教頭 田崎 智子

置・ふすま張り替えのご案内

愛媛県学校生活協同組合連合会では、(有)ライフネットと提携店契約を結んでおります。

面倒な畳替え、ふすまの張り替えなどの

ご用命は、お気軽に学校生協までご相談ください。



お問い合わせは

愛媛県学校生活協同組合連合会

電話 (089) 925-0555

または 郡市学校生活協同組合

いんぎょステッチ

No.398

岩松川のしろうお漁



宇和島市長 岩松川 石丸 光計

学校の前を流れる岩松川には、一月〜二月の寒い時期にしろうお(宇和島地方ではしろうおと呼ぶ)が、産卵のために海から上がってきます。岩松川のしろうお漁は、長い網を二人で引く地引き網で、岩松川の早春の風物詩となっています。しろうおは、たくさんとれないため、地元でも高級食材として珍重されています。



毎年一月の最終日曜に「しろうお祭り」が開催され、しろうお漁の無料体験やおどり食いなどのグルメが堪能できるイベントがあります。来年に一月には、ぜひ、津島町の「しろうお祭り」にお越しください。

藤本 明様	86歳	今治市別宮町六四一五	28	12	12
稲見 和正様	79歳	新居浜市松神子二四二二	28	12	31
合田 茂章様	86歳	四国中央市寒川町四六一	28	12	31
村井 弘様	82歳	大洲市五郎乙一三	29	1	31
藤方 進様	91歳	大洲市菅田町菅田甲六六	29	1	6
三宅 泰様	87歳	四国中央市土居町土居三〇	29	1	8
藤田 五郎様	87歳	新居浜市西連寺町一四一五	29	1	12
荒木スミ子様	86歳	新居浜市政枝町一三二五	29	1	13
相原 隆志様	88歳	伊予郡松前町鶴吉三五〇	29	1	15
野口ハツミ様	82歳	西条市円海寺八一五	29	1	16

お知らせ

◆会館改築基金規程等の改正について

会館改築基金拠出規程等を左掲のとおり会館改良にも活用できるように改正しましたので、お知らせします。(平成二十九年二月十一日(公財)愛媛県教育会理事会議決)

愛媛文教会館改築・修繕等基金拠出規程

- 1 目的 愛媛教育の拠点である愛媛文教会館の改築、維持に要する改良又は修繕等の費用について、自助努力によって拠出積み立てを行い、その実現を図る。
- 2 拠出金
  - (1) 新入会員が入会時から5年間拠出する制度とする。
  - (2) 基金の拠出額は次のとおりとする。  
500円+給料月額×1/1,000  
(給料月額には本俸のほかに教職調整額、義務教育等教員特別手当を含む。)
  - (3) 拠出額の算出は毎年4月1日現在の給料月額(1万円未満の端数を切り捨てる。)とする。

愛媛文教会館改築・修繕等基金拠出細則

- 1 基金徴収方法
    - (1) 徴収は毎月行うことを原則とする。但し支部単位でまとめて徴収も可。
    - (2) 休職(公務休職を除く)・育児休業・介護休暇を開始した月、又は月途中で復職した月(1日付けの復職を除く)は、納入を要しない。
    - (3) 学校単位に担当者を決めて徴収する。
    - (4) 徴収した基金は支部事務局がまとめて、一括教育会文教会館改築・修繕等基金の口座に振り込む。
    - (5) 基金の徴収にあたり原簿と個人カードを作成する。  
(原簿は3部作成し、学校用・支部事務局用・県教育会用とする。)  
・個人カードは1部作成して学校用とし、個人には、完納時にコピーして領収書とする。  
・学校用カードは完納時支部事務局をとおして本部基金事務局(愛媛教育会)へ返送する。
  - 2 基金管理 (1) 寄附金等取扱規程に基づき理事会に諮り管理運用する。
- 付 則 この規程及び細則は、公益財団法人愛媛県教育会の設立の登記の日から施行する。この規則及び細則の一部改正は、平成29年1月11日から施行する。

本年度のご利用たいへんありがとうございました。来年度も一層のご利用をお願いいたします。

会議・宿泊・宴会に 私たちの会館を!

ご利用条件の詳細はホームページをご覧ください。  
<http://www.ehime-bunkyoikaikan.or.jp/>

エスポワール愛媛文教会館

足跡をつづる、私を記す、形に残す。  
あな死が主人公のドラマを未来に伝える。

本づくり応援

プロのスタッフが校正作業をサポートします!  
プロのデザイナーがデザイン力を発揮します!  
●規格・装丁のご提案 ●編集方針のご提案 ●レイアウト見本のご提示  
●原稿作りのアドバイス ●予算のお見積り ―その他、ご相談承ります。―

◎注文・お問い合わせは 印刷営業部 TEL (089)945-0112 FAX (089)947-6073

SEKI セキ株式会社

〒790-0001 愛媛県松山市北山町1丁目11 TEL (089)945-0111  
〒790-0001 愛媛県松山市北山町1丁目11 TEL (089)947-1230  
〒790-0001 愛媛県松山市北山町1丁目11 TEL (089)947-1230  
http://www.seki.co.jp